

株式市場新聞

www.marketpress.jp

発行元 株式会社 株式市場新聞社

〒541-0058

大阪市中央区南久宝寺町3丁目2-7

TEL 06-6105-1904



1 第359号

日経平均株価

3万2391円26銭

▼28円07銭(前日比)

TOPIX

2239.10

▼3.89(前日比)

2023
7/17
月曜日

今後の株価占う1Q決算

安川電、ディスコでやや警戒感？

7月下旬から3月期企業の第1四半期決算発表が本格化する。日経平均では1月16日安値2万5748円10銭から6月19日の高値3万3772円89銭まで8000円超上昇したが、これはハイテクを中心とする日本を代表する企業の潜在的な成長性を評価した外人買いが一因と言われる。その意味で第1四半期で好調なスタートを切った企業は再び買われる可能性があり、第2四半期以降の動向を含めて決算内容が今後の株価を占う上で注目を集めよう。

ハイテク為替動向も注視

となったことでは先

主力企業では2月15日(506)が発表後翌週の10日に株価が下落して引けている。第1四半期の営業利益では前年同期比で17.9%増の1億7440万9000円と2ケタ増益だったが、受注高ではロボット事業を中心に若干下振れ



ディスコとニデックを皮切りに始まる

不安が高まったようにだ。そのようななかで3月期企業ではまず20日発表のニデック(6594)とディスコ(6146)が注目を集めることになるが、ディスコに関しては既に6日発表の個別売上高で前年同期比9.7%減の441億円となったことでの後、株価が下落した。ニデックは今通期で2.2倍の大

日経平均の日足チャート



幅な営業増益予想を打ち出していることから進捗状況が気になるところだ。その先は26日にアドバンテスト(6857)やカプコン(9697)、信越ポリマー(7970)、27日に信越化学工

業(4063)、28日に東映アニメーション(4816)、8月1日にトヨタ自動車(7203)、3日に任天堂(7974)などが控える。任天堂は「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」の大ヒットが収益に反映されるかと、一部メディアで話題になっている次世代ゲーム機の動向が注目される。ハイテクについては為替動向も注視されよう。

7月第1週の動意銘柄

ダイセキSは4連騰

稼働率高水準で23年2月期増額

週明け3日、ダイセキ環境ソリューション（1712）が4連騰。同社は6月の30日の取引終了後に23年2月期の業績予想について、連結売上高で170億円から183億9500万円（前期比12.0%増）へ、営業利益で15億9100



4日、第一三共（4568）がストップ安まで売られた。アストラゼネカと開発中の非小細胞肺癌がん患者への二次/三次治療を対象としたダトポタマブデルクステカンの第3相臨床試験の結果概要を発表、全生存期間の中間解析において、本剤投与群はドセタキセル投与群に対し初期の改善

第一三共試験結果嫌気

傾向が認められたものの、統計学的に有意な改善を示さなかったことが嫌気された。ジーデップAI人気

ジーデップ・アドバンス（5885）がストップ高。東証スタンダード市場に新規上場、公開価格4510円の2.4倍となる1万6800円で初値が生まれ、その後も

上値追いとなった。AI学習など高度な処理が可能なハードウェアなどを販売することからAI関連として人気を集めた。キタックAI活用報道

7)がストップ高。「建設コンサルタンのキタックはAIを活用した画像処理技術の開発を本格化すると報じられたことが好感された。画像処理機器・システム

公開価格の3.5倍
AeroreeS初値
5日、前日に東証グロース市場に新規

限責任組合への第三者割当による新株式と第6回新株予約権を発表した。発行済み株式総数に対する希薄化率は最大で14.46%。差引手取概算8億9871万円はEV充電設備の仕入れ費用などに充てるが、日本での高速EV充電施設展開への不安や利食い売りから値を崩す展開となっている。

三光合成（7888）が大幅に4日続伸。23年5月期の業績予想について、連結売上高で680億円から80億円（前の期比23.4%増）へ、営業利益で28億円から34億円（同3.7%増）へ上方修正した。国内外で車両向け受注が増加した。

正直いいさんの株で大判小判
前週の東京市場は前の週からの調整地合いを引き継ぎ、中盤にかけ軟調に推移しましたが、後半は引き戻し週間ではほぼ横ばいになりました。日経平均は前の週から2円上昇しています。日銀が大規模緩和策を修正するとの思惑から円高が進み、米PI（予

米株と為替確認しながら
懸念が後退、ハイテク米国株が上昇したことになりました。

米6月卸売物価指数（PPI）も予想を下回ったことから利上げ長期化観測はさらに後退していますが、円高に歯止めがかかると警戒感もくすむに変わりはないでしょう。週明けから3月期企業の第1四半期決算発表が始まりますが、米国株と為替の動向を確認しながら好決算銘柄の買い場を探りたい考えです。花咲翁



上場したAeroreeS（7409）は公開価格1690円に対して3.5倍となる5860円で初値が生まれた。同社は航空機エンジン部品などの製造、販売やエンジニアリングサービスの提供を行う。

霞ヶ関キャピ3連騰

案件収益拡大で上方修正

5日、霞ヶ関キャピタル(3498)が大幅に3日続伸。

23年2月期の業績予想について、連結売上高で265億円から360億円(前期比73.2%増)、営業利益で32億円から41億円(同91.5%増)へ上方修正、期末一括配当を50円から60円(前期30円)へ引き上げた。主にアパートメントホテルと物流事業における案件収益の拡大や売却

霞ヶ関キャピの日足チャート



公開価格20%上回る

ブリーチの初値

ブリーチ(9162)が東証グロース市場に新規上場、公開価格1340円を19.6%上回る1

高ストップ

直近3カ月増益で回復期待

6日、エスプールのストップ高。同社は5日の取引終了後、12月31期の第2四半期累計(12月)決算

を公表した。連結営業利益で前年同期比4.6%減の14億9300万円だった。直近3カ月の第2四半期(3~5月)

603円で初値が生まれた。レベニューシェア型のインターネットマーケティング広告により獲得した新規ユーザー獲得に、予め顧客企業と合意した新規ユーザー獲得当たりの報酬単価を乗じて計算されるレベニューシェア額を報酬として受領する成果報酬型ビジネスを行う。

のみだと増益で着地していることから、第3四半期以降の一段の収益回復を期待する動きになった。

レオパレス15%自社株買い

レオパレス21(848)が大幅続伸。同社は5日の取引終了後、大規模な自己株式取得枠の設定を発表した。上限500万株(発行済株式総数に対する割合15.2%)または100億円で、取得期間は7月6日~24年1月5日。株価浮揚効果を期待した買いが向かった。

松井証券

今こそ始めるデイトレード

松井証券の一日信用取引

手数料0円 金利・貸株料0~1.8%

取引コスト

プレミアム空売り

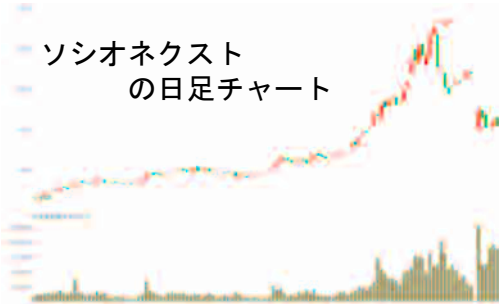
独自サービス

最短3分でお申込み完了!

【無料】新規口座開設はこちら

marketpress.jpのバナーをクリック

ソシオネクスト
の日足チャート



ソシオネクストがS安

株式売出で需給悪化懸念売り

6日、ソシオネクスト(652)がストップ安。1262万480株の株式売出を発表したことで、需給悪化を懸念した売りが殺到した。富士通(6702)、パナソニックホールディングス(6752)、日本政策投資銀行が保有する全株式を海外機関投資家に売却する方針で、発行済

6日、ソシオネクスト(652)がストップ安。1262万480株の株式売出を発表したことで、需給悪化を懸念した売りが殺到した。富士通(6702)、パナソニックホールディングス(6752)、日本政策投資銀行が保有する全株式を海外機関投資家に売却する方針で、発行済

オンワードは上方修正

み株式総数の37.5%に達する。売却価格は11日から13日までに決定する。週末7日、オンワードホールディングス(8016)がストップ高。24年2月期の業績予想について、連結営業利益で70億円から100億円(前期比91.8%増)へ上方修正した。顧客本位の商品開発と販売サービスの強化に注力した結果、23区、五大陸、チャコット、ペットパラダイスなどの主力ブランドが、引き続き好調に推移

イーザイは出尽し

イーザイ(4523)が急落。「レカネマブ」がアルツハイマー病治療薬として、米国FDAからフル承認を取得したと発表したのが、承認はかねてより予想されていたことから材料出尽くしの動き。

わらべや4割営業増益

わらべや日洋ホールディングス(29

良品計画は営業利益2倍強

週明け10日、良品計画(745)がストップ高。前週末取引終了後に発表し

た23年8月期第3

7月第2週の動意銘柄

四半期累計の連結決算は、営業利益226億7200万円(前年同期比8.7%減)と減益で着地したが、直近3カ月の3ヶ月5月期は124億9500万円(同2.1倍)と急回復しており、通期計画の上振れを

期待した買いを集めた。値上げ効果が粗利益率が大きく改善、海外事業が引き続き好調に推移している。

公開価格の3倍

グリッドの初値7日に東証グロス市場に新規上場し

たグリッド(5582)が公開価格2140円の2.99倍となる6400円で初値が生まれた。同社は人工知能を用いた計画最適化システムの開発・販売・保守・運用サポートを行う。

3万3000円回復なければ三段下げ

先週の東京株式市場は小幅に反発しました。7月3日に終値ベースで年初来高値を更新しましたが、そこから5日続落し、先週の水曜日には一時3万2000円割れとなりました。先週末がオプションSQということもあり、買い方の仕掛け等により引き戻しました。SQ値は3万2484.24円で着地しています。概ね、大口投資家のゴールドマン・サックスのポジション通りとなったようです。

日経平均はダブルトップ形成の後、二段下げとなりました。今週は3万2972円近辺に走る25日線攻防があるかどうか。週足では先々週に陰線包み足示現後に差し込みの陽線が立ちましたが、5週線が3万2910円近辺に位置しており、3万2900円台のレジスタンスラインを越えられないと、7月12日安値を割り込む三段下げに向かうものと思われます。

日々勇太郎



エクスマーシオン-転減益

エクスマーシオン(4394)が23年11月期の単体業績予想の単体業績予想について、営業利益を2億2600万円から1億4800万円(前期比19.6%減)へ一転、減益に下方修正した。人材採用の苦戦と退職に伴うコンサルタント要員数の未達に加え、生成AIを活用したコンサルティングサービス開発に着手するなど先行投資負担が収益を圧迫

ジャパニアスは3連騰

第2四半期56%営業増益

11日、ジャパニア

アス(9558)が大幅に3日続伸。23年11月期の第2四半期累計決算は、連結営業利益で前年同期比56.3%増の3億9000万円となった。先端エンジニアリング事業においてオンサイト型開発支援業務、受託開発業務とも売上高を増加させることがで

ウエルシア営業減益

ウエルシアホールディングス(3141)が急反落。24年2月期の第1四半期決算は、連結営業利益で前年同期比4.3%減の73億8100万円となった。燃料価格の高騰を受けて水道光熱費が大幅に増加した。

アステリアが急伸

アステリア(3853)が急伸。企業データ連携製品「ASTERIA Warp」が日本郵船(9102)に採用されたと発表した。100種類以上のサービスとの連携に対応する多彩なアダプターが各種クラウドサービスや基幹システムとの連携に加え様々なデータの統合を実現することや、システム連携に必要なファイرفォーマットやコード変換などのデー

マリーゴールドが見頃に

ハリマ化成G

鮮やかなオレンジ色の花満開



加古川製造所のマリーゴールド園

企業レター

ハリマ化成グループ(410)子会社ハリマ化成(加古川市野口町)のマリーゴールドが見頃を迎えている。4月に種蒔きをして6月中旬から花を収穫する。加古川製造所ではマリーゴールドを鑑賞する人のために正門前の駐車場を開放している。

ローソン64%営業増益

12日、ローソン(2651)がストップ高で新値。24年2月期の第1四半期決算は連結事業利益で前年同期比63.9%増の2億4600万円となった。店舗改装や冷凍食品、日用品などの日常使いの商品の拡充な

タ加工にも柔軟に対応できることから「Warp」の採用が決定したという。

ローエ大幅減収減益

ローエ(6323)が急落。24年2月期第1四半期の連結決算は、売上高166億9300万円(前年同期比23.0%減)、経常利益52億8000万円(同27.5%減)と大幅減収減益で着地した。半導体メーカーの一時的な在庫調整

どに取り組んだ。

金融株YCC修正思惑

三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)や三井住友フィナンシャルグループ(8316)を筆頭に金融株が逆行高。国内賃金の上昇圧力の高まりを受けて日銀が今月末の金融政策決定会合でイールドカーブコントロールの修正に動くとの思惑が高まっております。待たれど買われた。

アマテイEV化で商機

13日、アマテイ(5952)が一時ストップ高。「EV化による商機の拡大がネジにも及んでいる。アマテイはネジにも強みがあり、EVの軽量化のためバッテリーやモーターなどの取り付けでネジの使用が増える見通し」と伝わった。同社の佐藤亮社長が成長戦略を語っており、注

トレック利益確定売り

目されていた。トレジャー・ファクトリー(3093)が急落。24年2月期第1四半期は連結営業利益で前年同期比34.8%増の10億3200万円となったが、前日急伸したことから利益確定売りに押された。持込買取が堅調。

ソフトバンクGが高値

先週の日経平均は3万1800円割れまで売られたあとに戻りましたが、週末14日は3連休前の手仕舞いで下落する動きになりました。

なっており、週明け更に戻すかは様子を見極めたいと思います。一方、生保、銀行、証券などには注目しており、三井住友(8316)や野村ホールディングス(8604)などには調整一巡感が出ています。日銀の緩和姿勢が少し変化していくとみられますので注目を怠れません。好決算の小売りの押し目も拾いたいところですが、ソフトバンクグループ(9984)を先月から紹介しており、グループ会社のPayPayのニューヨーク市場上場検討報道などが好感されて週末には7139円の高値を付ける場面がありました。さ

為替が1ドル138円前後まで急な円高と

高野恭壽の株式情報 これでどや!!



株式市場新聞の名物コーナーが復活!

が2万1840円まで買われ最高値を更新し、東京エレクトロン(8035)など下げ止まりました。ただし、

金融株も注目急るな

35)など下げ止まりました。ただし、

高野恭壽(たかのやすひさ)氏 株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家へ。講演会のほかラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに出演。「株式投資30カ条」など著書も。公式ホームページ <https://marketpress.jp/kabu-takano/>

ソニーGが急反発

ゲーム事業重点投資報道

13日、ソニーグループ(6758)が急反発した。「ゲーム事業の研究開発に重点的に投資することが材料視された。2024年3月期に同事業の研究開発費は3年前に比べて2倍となる約3000億円を投じる。ソニーG全体の4割を占め、事業別ではエレキや半導体を抜いて最も金額が大きく、ゲーム技術を磨いて現実世界と仮想空間



ソニーGの日足チャート

が融合する「複合現実」などの新市場で競争力を高めるとしており、ゲーム事業の拡大と新事業創出による収益拡大が期待された。

SHIFT56%営業増益

週末14日SHIFT(3697)がストップ高まで買われ、上場来高値を更新した。23年8月期第3四半期累計の連結決算は、営業利益82億3200万円(前年同期比56.0%増)と大幅増益で着地、通期計画の94億円(前期比36.0%増)に対する進捗率は87.6%に達した。客単価、客数、エンジニア単価、エンジニア数などいずれも増加、拡大しており、改めて高い成長性が認識された。7&iHD1Q2割減益セブン&アイ・ホ

SERIOストップ高

SERIOホールディングス(6567)がストップ高。同社は13日の取引終了後、24年5月期の業績予想を発表、連結営業利益で前期比2.15倍の4億3900万円を見込むことが好感された。就労支援事業について、人手不足が顕著なサービス業への新規営業活動が足元で順調という。

23年秋新製品はチャレンジ

銘柄探究



ザク食感の変ガーリックペッパー



の歴史的な不作で原料海苔の高騰という危機にも見舞われている。このような中で同社では原料海苔の安定確保に取り組みとともに「いかに付加価値を付けて製品化することも重要」（稲野達郎社長）になるとし、秋の新製品投入を通じてユーザー層

増加と簡便志向を追い風に「万能」と名の付く調味料は商品数・金額とも増加しているが、これまでふりかけコーナーには「万能」と名の付く調味料は存在せず、今回発売する「ザク食感の



バリバリ職人 和風だし味

「バリバリ職人」は累計で60億を超える売り上げを達成しており、第7弾の発売で更なる販売増が期待できそうだ。

バリバリ職人第7弾も

ふりかけ初の万能調味料

品。共働きの世帯の「旨辛エビ」の4

大森屋（2917）が2023年秋に発売する新製品はご飯のお供としてのふりかけや海苔といった固定概念を覆す新たなチャレンジを行う。コロナ禍から脱却し外出機会が多くなる中、簡単で便利かつ料理が美味しくなる製品を提案する。

大森屋 (2917)



稲野達郎社長

の拡大とともに製品全般の底上げを図る方針だ。そのような中で8月21日から全国で発売するのが「ザク食感の变」シリーズ4品と「おだ

して食べるわかめのお茶漬け」シリーズ3品、「バリバリ食品和風だし味」の3アイテムだ。「ザク食感の变」シリーズは「バジルナッツ」、「ガーリックペッパー」、「アーモンド醤油」、「旨辛エビ」の4

かけるだけでマンネリ化しがちな食事にとよとした味の変化をもたらし、例えば「ガーリックペッパー」ならステーキやガーリックライス、「アーモンド醤油」なら豚しゃぶサラダやマグロユッケなどのアレンジレシピを提案していく。

「おだしで食べるわかめのお茶漬け」シリーズは昆布だし、かつおだし、韓国風だしの3品で、20代〜30代の若年層の掘り起こし・需要喚起を狙い、ヘルシー感のあるわかめをメイン食材にしたお茶漬けを開発。

わかめのキャラをアクセントに優しい色味でターゲットである若い女性に好まれるデザインで需要を喚起していく。

「バリバリ食品 和風だし味」は大人気シリーズ「バリバリ職人」の第7弾でかつお節エキスとかつおエキス・鯉節（粉砕）、昆布エキス・エビエキスなどを

調味液に配合してだし感を強くしている。2018年2月に発売開始した

チャート から読む 騰落銘柄

ディスコ(6146)



7月13日に25日線割れとなる2万2195円まで売られたが、その後は戻す展開に。第1四半期売上高速報9.7%減は織り込み済で20日の決算発表で2Q以降の動向確認できれば7月5日高値トライも。

ステムセル研(7096)



6月30日に年初来高値3285円を付け、上げ一服も急上昇してきた25日線が下値を支持。臍帯血を処理・保管する細胞バンク事業の成長性は大きく、21年7月に付けた実質最高値3665円を目指す。

アイドマHD(7373)



12日に23年8月期の利益予想を上方修正したものの市場予想に届かず、2105円の年初来安値を更新。138万株超の買い残も重石で次は22年2月21日の安値1950円が意識されそう。

大泉製作所(6618)



770円を中心にしたボックス相場を下放れ、年初来安値を更新。中国向けエレメント部品の不振が続き、今期も経常減益の見込み。信用買い残の整理も進まず、22年2月安値619円までの下落も。

※チャートは日足

星野三太郎の株街往来

～迷走するツイッター～

イーロン・マスク氏が経営権を取得してからツイッターが何かと話題になっていいる。普段は自社の宣伝用と個人用途で何気なく利用しているが、数週間前に突然利用ができなくなる事態に陥り、悪い意味で関心を持ち始めてしまった。

SNSは筆者の周囲ではフェイスブックの利用が多いが、短文で投稿できて気軽に利用できるから個人、企業含めて重宝しての方が多いと思う。経営が赤字だそうだから、利益を増やすために新たな施策を施すのは当然だと思うが、閲覧に制限がかけられたりすると面倒だから利用しなくなってしまう。

Twitterが運営していたライブストリーミングアプリは高く評価していたが、これも数年前にサービスを停止しており、最近の迷走を見るとTwitter自体が消滅するなんてことも想像してしまふ。

このように悪い話題が増えれば別のものを利用するだけ。米メタ社がリリースしたThreadsの登録者数が伸びていることは頷ける話だ。イーロン・マスク氏がこれからどうするか注目したい。



企業レター

「鰻重」「鰻皿」10%割引

吉野家HD

7月29日までキャンペーン実施中



吉野家ホールディングス(9861)は土用の丑の日7月30日受け取りで「鰻重」「鰻皿」をテイクアウト事前予約注文すれば、会計時に税込価格から10%割引するキャンペーンを7月29日まで吉野家全店舗

で実施中。吉野家の鰻は大判な鰻を特製の濃厚だれで四度焼きしている。醤油・砂糖ベースのたれに滋養豊富な鰻の頭を煮詰めて、うま味を抽出したエキスを加えたコクのあるたれに鰻をくぐらせて、四度繰返してふっくら香ばしく焼き上げている。店頭もしくは電話で予約をすれば店舗で待たずに出立の「鰻重」「鰻皿」を割引価格で受け取ることができ。期間中に予約すれば、「鰻皿」二枚盛の場合、最大269円得になる。今年4月から販売の「鰻重牛小鉢セット」も割引対象商品となる。

カプコン

全世界で200万本

「ストリートファイター6」



カプコン(9697)の「ストリートファイター」シリーズ最新作「ストリートファイター6」が全世界で200万本を販売した。

「ストリートファイター6」は前作から約7年ぶりに発売された新世代の対戦格闘ゲーム。本作では対戦格闘ジャンルで最高峰のバトル体験を実現していることに加え、「ストリートファイター」の世界を冒険するストーリーモード「ワールドツアー」などシングルプレイの強化を図った。さらに、複雑なコマンド入力無しで必殺技を出せる初心者向けの新たな操作オプション「モダンタイプ」の採用など、幅広いユーザー層に向けた機能向上を図っている。

潮流

日経平均4万円は通過点

「積極財政」と「内需拡大」で復活

market/bAnk



日本の人口約1億2000万人が2070年には約8700万人まで減少すると予想されている。

人口減少は経済成長が著しく低い日本と関係している。給料が低く伸びも無い状況が30年間続いた結果、結婚して子供を育てる経済力が無いために結婚もしない、結婚しても子供は1人が限界という状況だ。これでは日本の将来は真っ暗だ。

国内消費が伸びないのも当然の結果だ。大企業は海外に活路を見出しているが、日本の99.7%を占める中小企業はそういう訳にはいかない。政府は「内需拡大」政策を日本再生の柱にすべきだ。日本の食料やエネルギー、半導体など必要と考えられる分野の需給率を高める目標を掲げて日本人が一致団結して取り組むことだ。そのために必要な莫大な資金を政府が提供すれば良い。日本政府が大学や企業に多額の研究開発資金を援助し、アメリカのような優秀な人材が集まる国にするためにあらゆる政策を考え実行しなくてはならない。

そのために日本は政策転換を行なう必要がある。政府は「緊縮財政」から「積極財政」に方向転換

政府は日本の人口減少を止めて将来的に増加させる政策を打ち出すことだ。

支)を政策に掲げている限り、日本の復活はない。国と民間企業とは全く違うということを政治家は理解すべきだ。税収が増えなければ投資できないというのがプライマリー・バランス(PB)の考え方だ。衰退

した日本が復活できない最大の要因である。

企業が成長するには研究や設備投資など将来に向けて投資を行なう必要がある。そのために銀行などから資金調達する。国も同じことだ。民間企業と大きな違いは、国はお金を創ることができる点だ。民間企業の借金とは全く違う。政府は国債を発行して資金調達できる。金額がいくら増えても日本が破綻することは無いのだ。「積極財政」と「内需拡大」で日本が復活すれば、株式市場はハイテク株だけでなく全業種が上昇するだろう。

日経平均の4万円は単なる通過点となる。株高が全ての国民にプラスの影響を与える。日本の将来を明るく、希望の持てる国にして、国民が安心して暮らせることが必要である。

潮流銘柄は丸全昭和運輸(9068)、三菱瓦斯化学(4182)、新日本空調(1952)。

にNHK番組「経済最前線」にて独自の投資支援システムが紹介された。直近では2022年1月の夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」で優勝。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。<http://marketbank.jp>

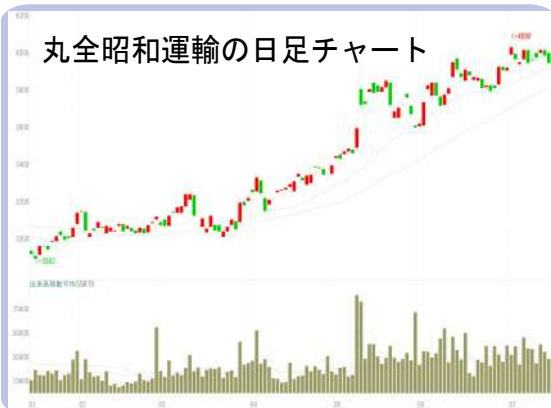


岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第1回S1グランプリ」にて1万人超の参加者の中から優勝。2002年

成長への研究や投資を

丸全昭和運輸の日足チャート





敏腕先物ディーラー

ハチロクの裏話

ハチロクのプロフィール
証券アナリストから証券会社

の法人部長を経て、225先物オプションディーラーに転身。アナリスト時代に培ったテクニカルやファンダメンタルズなどの分析力を駆使、リーマンショックなどの暴落時も乗り越えて西日本における225先物オプションディーラーとしてはトップクラスの運用実績を誇る。



年金の売りは続いていた

ドル円の日足チャート



は1トチャ
5日
たい。考
察し
のり
つじ
で
くる
な
が
重
要
な
さ
か
が
改
善
率
の
決
算
は
重
要
な
事
件
だ
ら
し
た
り
な
ら
ば
注
意
す
べ
し
い
。

移動平均線(3万2229円)を上回ってきているが、25日移動平均線(3万2968円)に上値を抑えらる状況である。平均線は横ばいに転じてきており、先行きの膠着感強い。一目均衡表でも転換線が基準線を下回り、上値の重い展開を示唆している。新値三本足では現在4本の陰線、陽転値は3万2773円02銭。陽転するまでは上値の重い展開は続くと思われる。

(ハチロク)

先週の日経平均は前週末比約2円高と小反発、週足で十字線の形となりもみ合い相場となった。注目されていた米6月CPI(消費者物価指数)の伸びが市場予想より低かったため、7月の米FOMCでの利上げ観測が弱まり上昇する場面もあった。だが、急激な円安の警戒感から一転円高に振れたため上値も重く伸び悩んだ。

需給的にみるとどうやら年金の売りが上値を重くしているようだ。今年1月～6月の株価の上昇により約6・2兆円の株の売却が必要であったが、6月末まででは約4兆円しか売却できていなくて、その残りの2兆円分が7月になっても機械的に売りに出されているようだ。海外投資家が大量に買った時はその売りが吸収して上昇していたが、7月に

更なる海外投資家が日本株を買うかは業績の伸びの裏付けが必須となっている4～6月期の決算は重要である。特に企業の利益率が改善されているか、重要になる。また、ドル円の日足チャートは5日

年金の売りが重し

FOMCまで方向感乏しい

入り海外投資家の買いも細ってきた現状では逆に上値を抑える要因になっている。先行して買っていた海外投資家はここにきて一旦利益を確定する動きも見られてるので、当面は海外勢の売りで年金の売りで上値の重い展開が続くと思われる。このままの動きでは「三尊天井」を付ける可能性も高く、上値追いには注意したい。

日経225先物の日足チャート



記者の視点

相場見通し

に円高が進んだことも警戒感が高めたよ

下値ないが上値もない？

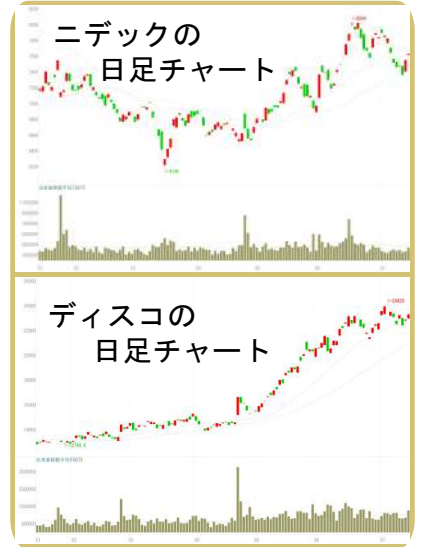
日銀会合と決算・為替を意識

7月第2週の東京市場は12日に日経平均が50日移動平均線手前となる3万1791円70・3%から伸びが加速する予想で、この内容次第ではFRBの金融政策に思惑(46)を皮切りに決算発表(61)を展覧ではないが日銀会合と為替、主要企業の決算値も睨む展開で、積極的に上日経平均では3万2000円前後を意識する展開か。

米国では6月の米消費者物価指数(CPI)が市場予想を下回ったことに続いて、6月の米卸売物価指数(PPI)の上昇率も市場予想を下回ったことを受けてFRBの利上げが長引くとの観測が一段と後退、ニューヨーク市場ではナスダック指数が一時1万4163・8ポイントまで急伸し最高値を更新したが、137・23円まで急速算、国内

当面のスケジュール

- 17日 海の日で休場
中国4-6月期GDP、中国6月工業生産、中国6月工業生産、中国6月都市部固定資産投資
18日 5月第三次産業活動指数
米6月小売売上高、米6月鉱工業生産・設備稼働率
19日 6月訪日外客数
米6月住宅着工件数
20日 6月貿易統計
米6月中古住宅販売件数
21日 6月消費者物価
米4月S&Pグローバル米国製造業PMI
24日 6月全国百貨店売上高
25日 独7月Ifo景況感指数
FOMC(~26日)
26日 6月企業向けサービス価格指数
パウエルFRB議長会見
27日 日銀金融政策決定会合(2024年の会合日程公表予定)(~28日)
ECB定例理事会(ラガルド`総裁会見)
米4-6月期GDP
28日 植田日銀総裁会見/日銀「経済・物価情勢の展望」(展望レポート)
7月東京都区部消費者物価
米6月個人所得・個人支出



編集後記

大阪ミナミの道頓堀川で絶滅危惧種のニホンウナギが捕れたことをご存じだろうか。数年は住んでいたところも証明されており、餌になるカニやエビ、小魚が生息していることも分かっていた。上流と下流に水門を設けて、満潮、干潮時に淀川の水が流れるように調整してきたが、淀川の水質改善が進んだことで、道頓堀川の水質は劇的に改善したらしい。道頓堀川を汚臭を放つていた。道頓堀川を知る筆者には信じがたい話だが、変わると信じていた話だが、変わるとうきには変わるということだ。市場も生まれ変わっている。

【ご注意】株式市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らたたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。